

平成24年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
確 定 版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 14時頃	輸送用機械等製造業 10～29名	その他の装置、 設備 崩壊、倒壊	船舶の修繕作業において、被災者は高圧スプレーを用いて洗浄作業（古い塗装を剥がす作業）を行っていた。被災者は船底部分の作業を終え、次にドッグ内に置かれていた重さ約4.5tの錨を洗浄していたところ錨が倒れてきて、頭部を錨のアーム部分と地面に挟まれて死亡したものの。
2	1月 10時頃	窯業土石製品製造業 10～29名	一般動力機械 はさまれ、巻き込まれ	被災者がコンクリート含有水をコンクリート分と水に分離する脱水機の中に入って清掃中、圧縮空気により作動するろ過板にはさまれ、後刻、同僚が意識不明の状態で発見し病院へ搬送したが、死亡したものの。
3	1月 10時頃	一般機械器具製造業 300名～	動力クレーン等 激突され	クレーンで荷（玉掛け用棒天秤；長さ10m、自重1.5t）を運搬台車上に積み降ろす際、被災者が玉外した後、玉掛けワイヤロープをつけたまま巻上げを行ったところ、（ワイヤロープのアイがかかって（推定）棒天秤が斜めに持ち上がり、被災者に向かって横転し始めたことから、被災者が支えようとしたが、地面に転落、地面に倒れた被災者の頭部に棒天秤が直撃した。
4	1月 15時頃	建築工事業 10～29名	建設機械等 激突され	資材置場を整地するため、労働者数名でドラグショベル等を用いて作業を行っていた。その整地作業中において、ドラグショベルを後退させていたところ、ドラグショベルの稼働範囲内に立ち入った被災者と接触してしまったもの。
5	2月 10時頃	化学工業 10～29名	危険物・有害物等 火災	アルミニウムを染める染料を製造する工程において、建屋の2階でろ過した原料をステンレスの皿の上に広げ、乾燥設備（蒸気による乾燥設備）で乾燥させたものを専用のポリ容器に重量を計測しながら移し入れる作業を行っていた。作業は、被災当時、被災者1人で行っていたが、何らかの原因で、当該原料が発火したことによりやけどを負ったもの。
6	1月 9時頃	その他の事業 30～49名	仮設物・建築物・構築物等 墜落、転落	3階建て建屋の塗装作業を行っていた被災者が、隣接する道路上に倒れているところを発見されたもの。頭部及び全身打撲により、収容先の病院で死亡した。（3階ベランダには、脚立やコーキング材が残されており、この付近から墜落したものと推定される。）

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神奈川県労働局
確定版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
7	1月 14時頃	社会福祉施設 50～99名	乗物 交通事故(道路)	訪問介護先の買物代行をしている最中、横断歩道を渡ろうとした際、ワゴン車に接触して転倒し、頭部を強打して脳挫傷を負い搬送先病院で死亡したものの。
8	2月 0時頃	土木工事業 1～9名	仮設物・建築物・構築物等 墜落、転落	高架道路の補修のために設置したパネル式のつり足場の解体作業を行っていた際、つり足場上で取り外された足場板(パネル)を高所作業車が設置してある箇所まで運搬する作業中、被災者は何らかの理由により、取り外す足場板(パネル)上に乗った時、足場板の片方が脱落、約17m下の地面に墜落したものの。
9	2月 10時頃	化学工業 100～299名	危険物・有害物等 有害物等との接触	製油所内の吸収塔付近で、吸収塔の最上部にあるデミスターの洗浄作業中に、ダンパー車にて汚泥物を回収し、ダンパー車のタンク上部にあるマンホールを開放して、(タンク内の汚泥物の堆積量を確認しよう) (推定) マンホール脇の作業台に上っていた労働者が、作業台の上で倒れているところを発見されたものの。
10	3月 8時頃	一般機械器具製造業 1～9名	トラック 交通事故(道路)	福島県郡山市内における営業のため、東北自動車道下り線を走行中、前方のトラックに追突し、全身を強く打ち死亡したものの。 追突したトラックがさらに前方の乗用車にも追突し、計3台が絡む玉突き事故となり、計4名が死傷したものの。
11	3月 10時頃	道路貨物運送業 1～9名	トラック 交通事故(道路)	配送先から帰社するため東北自動車道トンネル内をトラック運転中にスリップし側壁に衝突した際、シートベルト未着用であったため車外に放り出され自ら運転していたトラックの下敷きとなり死亡したものの。
12	3月 15時頃	化学工業 50～99名	荷 崩壊・倒壊	ベツ樹脂製造用の粉末原料の入ったフレコンバッグ(重量1t)の下敷きとなり死亡したものの。フォークリフトによりフレコンバッグを持ち上げ原料をホッパーに投入する作業中に、2段目のフレコンバッグに穴が開いて型崩れして、3段目のフレコンバッグが落下し、流出する材料を手で押さえていた被災者を直撃した。

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神奈川県労働局
確定版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
13	4月 2時頃	土木工事業 1～9名	高所作業車 はさまれ、巻き込まれ	立体横断施設施工現場において、横断デッキ下部の電気ケーブルを寄せる作業を、高所作業車を使用して行っている際、横断デッキと高所作業車のバケットの間にはさまれたもの
14	4月 14時頃	清掃・と畜業 1～9名	その他の仮設物、建築物、構築物等 墜落、転落	配管清掃の見積もり作成のため、マンションの立体駐車場に入り調査を行っていたところ、足を踏み外し7～8m墜落したものの。
15	4月 5時頃	卸売業 1～9名	その他の一般動力機械 はさまれ、巻き込まれ	被災者は鮮魚の買付けに伴う業務のため漁船に乗り、船首部にいたところ、錨の巻き上げローラーが動いたためローラーに巻きつけてあった定置網固定用ロープに巻き込まれた。
16	3月 11時頃	清掃・と畜業 10～29名	コンベア はさまれ、巻き込まれ	ごみ焼却設備の清掃作業において、排ガス処理のためのろ過式集じん機の下部を清掃中、灰出し用のスクリーコンベアに両足を巻き込まれたもの。香川県に出張作業中の災害である。
17	6月 17時頃	警備業 30～49名	乗用車、バス、バイク 交通事故(その他)	被災者はパチンコ店駐車場において車両の誘導業務を行っていた。公道を通行する車両があったため、出庫しようとした車両を一時停止させようとしたところ、当該車両の運転手が、アクセルとブレーキを踏み間違えて被災者を轢いたもの。
18	6月 16時頃	建築工事業 30～49名	立木等 墜落、転落	資材置き場の補修工事用足場を設置するため、高さ約6mの屋根上で雑木の伐倒を行っている際に、当該伐倒木が被災者側に倒れてきたため、屋根上から転落したものの。

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神奈川県労働局
確定版

番号	発生日 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
19	4月 5時頃	その他の建設業 10～29名	トラック 交通事故 (道路)	事業場所有のトラックに4名乗車して工事現場に向かっていたところ高速道路で左後輪タイヤがパンクして横転した。1名死亡、1名休業、他の2名は不休。
20	6月 12時頃	金属製品製造業 30～49名	有害物 有害物等との接触	メッキ槽上の足場で板材を並べてその上にシートを張る作業の際、被災者は自分がシートを踏んでいることに気付かないまま、シートを引っ張り上げたためバランスを崩してメッキ槽内に転落した。メッキ槽には20%クロム溶液があり、内臓損傷により死亡した。
21	6月 10時頃	その他の建設業 1～9名	エレベータ、リフト はさまれ、巻き込まれ	3階建ての建物に設置されたエレベーター（積載荷重0.9t、機械室なし）のピット内で地震感知器の点検作業中に、作動確認のため搬器を動かしたところ、降りてきたカウンターウェイトとレールブラケットに胸部をはさまれた。
22	8月 10時頃	土木工事業 100～299名	掘削用機械 転倒	掘削作業中にドラグショベルが転倒し、オペレーターが下敷きとなった。
23	6月 14時頃	その他の接客娯楽業 100～299名	立木等 墜落・転落	斜面に生えていた直径50cmの根株の撤去作業中に当該根株とともに斜面下に転落した。入院加療中に肺炎を併発して8月に死亡した。
24	8月 14時頃	輸送用機械等製造業 300名～	金属材料 崩壊・倒壊	鋼材144枚（約12t）を天井クレーン（定格荷重20t）を使用してトラックから降ろす作業の際、資材置場に先に積んであった鋼材144枚の上に重ねて積み上げ、被災者が玉外しを行おうと近づいたところ直前に積んだ鋼材144枚が崩壊して、その下敷きとなったもの

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
確 定 版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
25	8月 9時頃	その他の製造業 50～99名	その他の動力運搬機 はさまれ、巻き込まれ	降下してきた垂直搬送機（搬器に袋を吊り、荷を1階から3階へ上げる）の搬器フレームとベルトコンベヤーの端部にはさまれた状態で発見された。
26	9月 9時頃	商業 1～9名	整地・運搬・積込用機械 はさまれ、巻き込まれ	砂利の混合作業を行うため、トラクターショベルを後進で走行させて作業場所に向かっていている際に、砂利を野積みする場所を写真撮影するため歩行中の被災者をひいたもの。
27	9月 14時頃	商業 1～9名	移動式クレーン 激突され	建設現場でドラグショベルのバケットを交換するため、バケットを搬送し、移動式クレーンで降ろそうとした際に移動式クレーンが転倒して下敷きとなった。
28	9月 16時頃	道路貨物運送業 10～49名	その他の建設用機械 激突され	スクラップを積んだ20tトレーラーを運転して埠頭の荷捌き場に行き、荷役を行う業者に荷降ろしを委ねたところ、荷台上にいてグラップルのアタッチメント部分に激突された。
29	1月 13時頃	教育研究業 1～9名	起因物なし その他	ダイビングスクールの講習先において、休憩中に突然頭痛が起き、救急車で病院に搬送されたが死亡したもの。過重労働による脳出血として認定された。
30	4月 16時頃	清掃・と畜業 1～9名	トラック はさまれ、巻き込まれ	10tダンプトラックに碎石を積み、客先の資材置き場に運搬して積荷を降ろしてから、ダンプトラックの荷台を上げた状態で荷台下の修理をしていた時に荷台が下がってはさまれたもの。

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神奈川労働局
確定版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
31	8月 14時頃	建築工事業 1～9名	引火性の物 火災	木造2階建てアパート新築工事において、地盤改良工事の施工のために打ち込む単管の杭の長さを調整するため、単管を電動高速カッターで切断していたところ、電源である発電機の燃料がなくなったため、燃料のガソリンを給油しようとしたところ、給油タンクからこぼれたガソリンが発火し、被災者の衣服に燃え移ったもの。事故から約1カ月後に病院で死亡。
32	9月 8時頃	金属製品製造業 10～29名	引火性の物 火災	トラックの部品をメッキするために、ガソリンを使用して表面処理前の洗浄作業を行っていたところ、引火して火傷を負い療養中であったが、事故から約1ヶ月後に死亡した
33	3月 1時頃	陸上貨物運送事業 30～49名	起因物なし その他	被災者の車が不自然な場所に停車していたため、不審に思った者からの通報により車内で意識不明となっていた被災者が発見されたもの。病院に搬送されたが死亡。発症前2ヶ月間に80時間以上の時間外労働が認められた。
34	4月 15時頃	建築工事業 10～29名	屋根、はり、もや、けた、合掌 墜落、転落	共同住宅新築工事現場において、屋根部の施工作業中、足を滑らせて高さ約8mから墜落して全身を強打した。
35	11月 19時頃	機械器具製造業 1～9名	その他の装置、設備 破裂	発電用スターリングエンジンのクランクケース（耐圧5MPa）の窒素ガスによる気密試験中、3MPaまで昇圧したところ、ボルト部に漏れがあったので増し締め後、5MPaまで昇圧中にクランクケースが破裂して1名死亡、2名が負傷した。
36	4月 7時頃	その他の建設業 100～299名	起因物なし その他	自宅で意識を消失してベッドで寝ている状態で発見され、搬送先の病院で死亡。長時間の時間外労働による身体的・精神的負荷により発症し死亡に至ったと認定された。

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
確 定 版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
37	11月 15時頃	建築工事業 1～9名	足場 墜落、転落	単管抱き足場解体作業中、取り外した単管を持って移動していた際に、バランスを崩して約30m下に墜落したものの。
38	11月 13時頃	建築工事業 10～29名	足場 墜落、転落	マンションの大規模改修工事において枠組み足場の解体作業中に、足場の13段目から墜落したものの。安全帯は未使用であった。
39	12月 16時頃	建築工事業 30～49名	解体用機械 激突され	建物の解体作業において、足場枠7枚を解体用重機（ニブラー）の爪先に玉掛けワイヤーを掛けて吊り下げ移動させようとしたが、ガラ山上にあった重機が前屈して旋回不能になったので、アタッチメントを地面につけたまま後退していたところアタッチメントが回転して被災者の胸部に激突した。
40	2月 9時頃	土木工事業 10～29名	起因物なし その他	増築工事現場の現場代理人が現場内で倒れこみ、救急車で病院に搬送されたが死亡したものの。過重労働による脳疾患として労災認定された。
41	11月 20時頃	金融業 100～299名	乗用車、バス、 バイク 交通事故(道路)	商談を終えて横浜方面に向かって東名高速道路を走行中にトラックに追突したものの。
42	1月 5時頃	道路貨物運送業 30～49名	起因物なし その他	配送先でトラックの脇で倒れているところを発見され搬送先の病院で死亡。後に労災認定された。

(速報に付き、起因物、事故の型及び発生状況等の内容が変わることがあります)

平成24年 死亡災害の概要

神奈川県労働局
確定版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
43	2月 0時頃	建築工事業 30～49名	起因物なし その他	工事現場での会議に出張し、着席した時に倒れ収容先病院にて死亡。長時間労働によるものとして認定された。
44	3月 18時頃	輸送用機械等製造業 10～29名	起因物なし その他	頭痛が治まらないまま出勤し、帰宅途中に駅で倒れ、搬送先の病院で死亡。業務による過重負荷が認められ労災認定された。
45	1月 7時頃	教育研究業 30～49名	起因物なし その他	業務の心理的負荷により精神障害を発症して自殺したものととして労災認定された。
46	8月 19時頃	その他の建設業 100～299名	起因物なし その他	産廃炉定検工事において被災者が工事写真の撮影に出たまま戻らないため探したところ、現場内で倒れていたもの。過重労働によるものとして労災認定された。